

令和 6 年度 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

～重症児者の笑顔と未来を創る～

社会福祉法人

ふれ愛名古屋

令和 6 年度社会福祉法人ふれ愛名古屋（以下「ふれ愛名古屋」という。）が取り組む社会福祉事業および公益を目的とする事業について、下記のとおり報告します。

●第二種社会福祉事業

実施した事業

(1) 障害児通所支援事業

☐昭和拠点

- ・重症児デイサービス natsu
- ・重症児デイサービス Hana

☐港拠点

- ・重症児デイサービス hoshi
- ・重症児デイサービス mei

(2) 障害福祉サービス事業

☐昭和拠点

- ・重症児者居宅介護 haru
- ・重度障がい者生活介護かえで
- ・重症児者短期入所こかげ

☐港拠点

- ・重度障がい者生活介護 satsuki

●公益を目的とする事業

実施した事業

- ・福祉有償運送事業
- ・診療所事業

実施しなかった事業

- ・訪問看護事業

●会議の開催に関する事項

1. 評議員選任・解任委員会

(Ⅰ) 開催日時および場所

開催 無し

(Ⅱ) 議題

決議事項 無し

2. 評議員会

(Ⅰ) 開催日時および場所

第1回：令和6年6月21日（金）19：30～20：50 法人本部／web

(Ⅱ) 議題

第1回：報告事項 ①第8期（令和5年度）事業報告の件
②第9期（令和6年度）事業計画の件
③第9期（令和6年度）予算の件

決議事項 ①第8期（令和5年度）決算承認の件
②新役員の選任の件
③令和6年 役員等の報酬額の件

3. 理事会

(Ⅰ) 開催日時および場所

第1回：令和6年 5月31日（金）20：00～21：30 法人本部／web

- 第2回：令和6年 9月20日（金）20：00～21：38 法人本部／web
第3回：令和6年 12月20日（金）20：00～21：15 法人本部／web
第4回：令和7年 3月21日（金）20：00～21：45 法人本部／web

（Ⅱ）議題

- 第1回：報告事項 職務の執行状況について
決議事項 ①第8期（令和5年度）事業報告書の件
②第8期（令和5年度）決算報告書（計算関係書類及び財産目録）の件
③新役員の選任（案）の件
④役員等の報酬額（案）の件
⑤令和6年 定時評議員会の招集の件
- 第2回：報告事項 ①第9期（令和6年度）事業の進捗（4月～7月）について
②職務の執行状況について
決議事項 令和6年10月1日付 就業規則と別表の改訂の件
- 第3回：報告事項 ①第9期（令和6年度）事業の進捗（4月～10月）の件
②職務の執行状況について
決議事項 ①第9期（令和6年度）予算の補正の件
②hoshi 改修工事の入札業者の件
③南区 hoshi 駐車場の件

第4回：報告事項 ①第9期（令和6年度）事業の進捗（4月～1月）の件

②職務の執行状況について

決議事項 ①第9期（令和6年度）予算の二次補正の件

②令和7年4月1日付 就業規則及び給与規程の改定の件

③第10期（令和7年度）事業計画の件

④第10期（令和7年度）予算の件

●寄附に関する事項

(1) 利用者保護者より 寄附金 100 万円

●助成金に関する事項

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|
| (1) 一般社団法人 次世代自動車振興センター | 550,000 円（みちくさ 訪問診療用車両） |
| (2) 公益財団法人 あすなろ福祉財団 | 1,500,000 円（ナツ 空調設備工事） |
| (3) 公益財団法人 木口福祉財団 | 1,016,000 円（居宅ハル 福祉車両） |
| (4) 公益財団法人 森村豊明会 | 3,000,000 円（ホシ デイサービス改修工事） |
| (5) 中部ウォーカーソン（在日米国商工会議所 中部支部） | 250,000 円（ナツ 蓄電池、療育グッズ） |
| (6) 社会福祉法人 愛知県共同募金会 | 3,000,000 円（ホシ 身体障害者用トイレ設置工事） |
| (7) 一般社団法人 芳心会 | 800,000 円（ホシ プラットフォームマット、グラビティチェア等） |

重度障がい者生活介護 satsuki

satsukiの特徴

satsukiは、平成26年3月に開所した生活介護事業所です。

学校卒業後の社会生活を送る場所として18～40歳の幅広い年代の利用者が通っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	16	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	
利用者数	120	113	104	111	116	108	124	110	91	107	107	113	1,324

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	2名	3名	5名	8名	8名	2名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	生活支援員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	7名	7名	2名	1名

*3月1日時点

令和6年度を振り返って

今年度はパン作りを再開し、活動を通して別事業所のスタッフや利用者との交流を図ることができた。また、11月には『自分のお弁当を選んで買いに出かける』という外出活動を行うこともできた。

来年度は、引き続きパン作りなどの活動を行い、外出活動の頻度も上げていきたいと考えている。

重症児デイサービス mei

meiの特徴

港特別支援学校からも近く、放課後の利用では時間に余裕をもって活動に取り組むことができます。近隣にはスーパーや公園、商業施設、テーマパークなどもあり気軽に外出がしやすい立地になります。活動内容では保育、介護、看護、リハビリのそれぞれ専門職も一緒になって計画し、児童がより安心安全に楽しめるよう、様々な意見を出し合いながら取り組んでいます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	19	19	19	19	18	18	18	18	18	19	19	19	
利用者数	115	129	119	130	121	121	140	115	112	112	121	107	1,442

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	1名	5名	3名	10名	12名	1名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	3名	6名	1名	7名	2名	1名

*3月1日時点

令和6年度を振り返って

今年度はコロナの影響はさほど受けなかったものの、利用児の体調不良や入院が多い1年でした。

活動に関しては、東山動物園や久屋大通庭園フラリエなど、はじめての場所への1日外出も多くすることができたため、利用児はもちろんスタッフも楽しく過ごすことができました。地域との交流はコロナ渦から薄くなっているため、来年度は地域交流を深めていきたいです。

重症児デイサービスhoshi

hoshiの特徴

hoshiは港特別支援学校から3キロの下町的な地域にある事業所です。近隣の方々からも温かく見守っていただき、利用児だけでなくスタッフも活動しやすい地域です。近くに小・中学校があるため、災害時はすぐに避難することができます。また、近隣のクリニックとの交流があり連携を図っています。引き続き、地域との交流を継続していきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	17	17	17	16	15	15	15	15	15	14	14	14	
延べ利用者数	110	110	100	114	111	110	114	100	95	103	105	101	1,273

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	1名	5名	0名	7名	10名	1名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	1名	2名	1名	3名	1名	1名

*3月1日時点

令和6年度を振り返って

今年度を振り返ると、体調が安定している児童が多く、穏やかな活動ができた。SNSを生かして、活動の発信や収集したアイデアを活動に反映して児童と楽しく過ごすことができた。また、来年度は熱田区へ移転するため、今まで以上に地域との繋がりができるように積極的な交流をしたい。

重症児デイサービス natsu

natsuの特徴

natsuは法人内で最初に開所した放課後等デイサービスです。現在は名古屋東部エリアの児童が中心で、港特別支援学校から少し距離が離れており、平日の放課後利用時は活動時間が短くなってしまいます。そのような中でも季節感を取り入れ、年齢相応の内容にしたり、流行りの物をみんなで共有したりとスタッフ全員で工夫を凝らし「全力で楽しむ」をnatsuスローガンにして、少しでも楽しく活動できるよう日々全力を尽くしています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	28	27	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	
延べ利用者数	136	154	132	158	141	146	148	145	141	134	133	147	1715

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	2名	5名	3名	7名	11名	0名

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	3名	4名	0名	7名	1名	0名

*3月1日時点

令和6年度を振り返って

今年度は「発展」を意識して活動を行いました。児童の活動に一番に力を入れ、地下鉄を利用したお出かけや、ICT機器を用いたスイッチ遊びを取り入れました。地域交流では昨年同様にハロウィンイベントを実施、区内のイベントや大学の学園祭に遊びに行くなど、地域の方へ知ってもらうことを目標に活動してきた1年でした。またスタッフの支援力向上において、各自が研修に参加し、事業所の会議時にフィードバックし全体で知見を深めていきました。

重症児デイサービス Hana

Hanaの特徴

Hanaは当法人の中で唯一、未就学児を受け入れている事業所です。初めて家族と離れて過ごす場として、安心して頂けるような環境設定と家族以外の人との信頼関係の構築を最優先で子どもたちと関わっています。その中で、年齢や個々に合わせた生活リズムを尊重し、発達段階を意識した支援をすすめて、最終的には就学時のストレスが少なくなることを目標に支援しています。また、家族以外の人が子どもたちを理解しケアできる実績を積み重ねたことにより、ご家族が安心できる環境を創り、ご家族がきょうだい児との時間を持つことができるよう意識し支援しました。

保育士を中心としたスタッフが療育活動を考え、医療的依存度に関わらずあらゆる活動に挑戦・参加できるよう、福祉と医療の多職種連携を目指しています。また共有した目標に向かって広い視野で子どもたちの未来につながる支援ができるよう努めています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	24	25	25	23	24	24	26	27	27	27	27	28	307
利用者数	151	142	148	161	146	141	163	158	157	153	167	160	1,847

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿
人数	7	8	12	12	18	2

*3月1日時点

職員配置	管理責任者	保育士	児童指導員	指導員	看護師	理学療法士	作業療法士
人数	1名	3名	5名	1名	8名	2名	/

*3月1日時点

令和6年度を振り返って

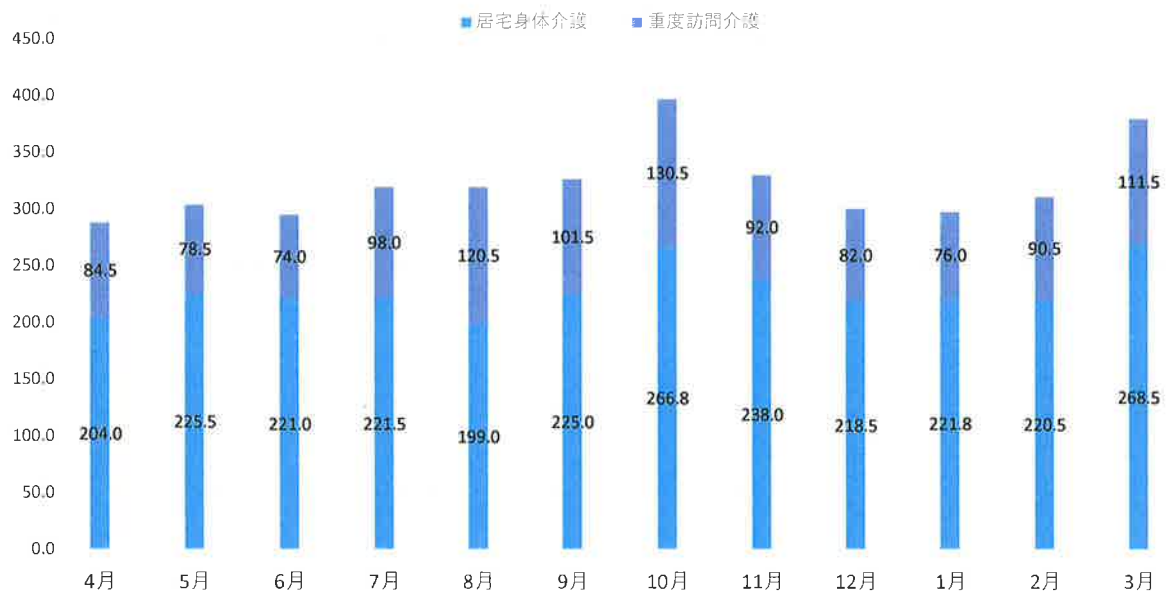
参観日や卒園式はHanaの大きなイベントとして定着させることができました。また、natsuと合同でコロナ禍以降、久々のご家族交流会も開催することができました。普段の様子などのお話をたくさん聞くこともでき、保護者の方から感謝の言葉を頂くことができた貴重な時間になりました。新規契約児童は7名で、利用希望のすべてに添うことができずキャンセル待ちをお願いすることもありました。他事業所の併用を提案するなど、できるだけご家族が困ることがないように地域の社会資源についての情報提供もできたように思います。昨年度に引き続き、低年齢児が増えてきております。また、利用児のほぼ全員が医療的ケア児という中で、スタッフと共に発達について学び、医療依存度が高い利用児に対しても、なんでもチャレンジできるような工夫について、改めて考えることができた1年でした。

重症児者居宅介護 haru

<居宅身体介護>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	25	26	26	25	27	28	26	29	28	28	29	30	327
訪問回数	234	244	237	246	219	234	277	222	221	229	225	262	2,850
提供時間	204.0	225.5	221.0	221.5	199.0	225.0	266.8	238.0	218.5	221.8	220.5	268.5	2730.1

<重度訪問介護>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	6	8	8	9	9	10	7	8	8	9	7	9	98
訪問回数	47	38	34	44	56	43	52	49	35	38	41	42	519
提供時間	84.5	78.5	74.0	98.0	120.5	101.5	130.5	92.0	82.0	76.0	90.5	111.5	1139.5

令和6年度サービス提供時間推移



* 令和7年3月1日時点

職員配置	管理者	サービス提供責任者	非常勤ヘルパー	登録ヘルパー
内 訳	1名	2名	35名	4名

保有資格内訳

* 令和7年3月1日時点

介護福祉士	看護師	初任者研修	重度訪問介護	実務者研修
17名	13名	6名	2名	3名

認定特定行為業務

* 令和7年3月1日時点

特定行為業務 従業者内訳	第1号/第2号研修修了	第3号研修修了	看護師
	1名	1名	8名

特定行為業務 実施項目内訳	喀痰吸引	経管栄養		
	6名	2名		

<福祉有償運送>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数（延べ）	2	3	2	1	1	3	1	1	3	2	1	4	24
運行数	2	4	3	3	3	6	4	1	3	2	2	4	37

* 令和7年3月1日時点

職員配置	福祉有償運送運転者
人数	12名

～今年度の振り返りと来年度に向けて～

今年度も地域の重症児者に寄り添い、その生活を支えることを最優先に、丁寧な支援に努めてまいりました。ご利用者が安心して住み慣れた地域で継続して暮らすことができるよう、入浴・排せつ・食事・移動といった日常生活の支援や家事援助に加え、ご利用者の心身の状態や生活環境を丁寧に把握し、それぞれの希望やニーズに応じた支援計画を策定、定期的なモニタリングを通じて質の向上に取り組みました。

特に医療的ケアが必要なご利用者への対応において、事業所内外でのケース検討会を重ね、医療機関や訪問看護事業所、相談支援専門員と連携することで、より一体的かつ安心感のあるサービス提供を実現しました。この取り組みにより、複雑な医療ニーズを抱える方に対しても地域生活の継続に貢献しています。併せて、今年度からは認定特定行為業務事業者としての登録を行い、居宅での身体介護において医療的ケアを取り入れる体制が整いました。これにより、喀痰吸引や経管栄養といったケアも必要に応じて提供できるようになり少しずつ対応件数が増えています。スタッフの技術向上と連携を進めながら、医療的ケアのある生活をより自然なかたちで地域生活の中で支えられるよう日々取り組んでいます。その中でご本人やご家族の不安に寄り添う場面も多く、「医療的なケアが必要であっても、地域で普通に暮らせる」ことを支える意義を改めて実感しています。来年度はさらに対応範囲を広げ、必要な方に必要なケアが届くよう体制を強化していく予定です。

また、移動支援の一環として提供している福祉有償運送サービスについては、今年度、運行回数および運行距離ともに伸びを見せ、通院付き添い支援をはじめとする移動ニーズへの対応力が高まりました。特に、総合病院への定期的な通院や専門医の受診など、公共交通機関等の利用が困難な重症児者にとって福祉有償運送が単なる移動手段にとどまらず、通院介助や代替コミュニケーション支援を含む重度訪問介護と連携した包括的支援を実現しています。これにより、ご利用者とそのご家族の身体的・精神的負担を軽減し、より質の高い医療を地域で受け続けることが可能となっています。来年度も本サービスの体制をさらに強化し、ニーズに即した柔軟かつ確実な移動支援の提供を目指します。移動支援と医療的ケア、生活支援を統合的に提供できるよう体制整備を進め、地域における重症児者とそのご家族を支えてまいります。

重度障がい者生活介護かえで

かえでの特徴

かえでは、平成31年4月に開所した、ふれ愛名古屋が運営する2つ目の生活介護事業所です。学校を卒業し、社会生活を送る場所の一つとして、安心・安全・楽しく過ごしてもらえるよう支援をしています。その中で個々の希望に寄り添った支援ができるよう、支援計画を作成します。利用者と年齢の近いスタッフも多く、さまざまな活動にもチャレンジすることを進めてきました。その中で、利用者が楽しむことのできる活動はもちろん、他者のために行う活動も考えて行っています。重症心身障がい者、医療的ケア者との関わりは福祉職と医療職の連携が必要不可欠なので、それを念頭に置きながら、スタッフ一丸となり利用者の地域生活を創るために支援しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
延べ利用者数	159	162	157	159	155	153	163	152	147	153	113	137	1,810

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿	ストマ
人数	4名	5名	2名	9名	9名	0名	1名

*3月1日時点

職員配置	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	看護師	理学療法士	調理員
人数	1名	1名	13名	7名	0名	3名

*3月1日時点

令和6年度を振り返って

今年度の活動は、大きい行事等は昨年度と同じ内容を行うことで、安定した活動にすることができました。また、ゲームや製作など、毎回行う活動では、やり方や回し方を工夫し、改善しながらより面白く、より楽しくするよう心がけて行いました。今年度も、外出や地域交流等が、感染症の観点から積極的には行えなかった為、来年度は外出や地域交流が行えるよう、リスクなどを考えながら行っていきたいと思います。また、活動も新しいことを取り入れていき、より一層楽しいと感じてもらえるよう努力していきたいと思います。利用者の体調では、年度の後半から体調不良で入院する利用者が多かった為、日々の関わりの中で体調等の観察をしっかりと行い、異変時にすぐに気づき、ご家族にいち早く伝えられるようにしていきたいと思います。

重症児者短期入所 こかげ

こかげの特徴

看護師・介護職合わせて2対1の人員配置とし、人工呼吸器・頻回の吸引を要する児者、動く医療的ケア児者への対応も可能です。また、感染症対策の個室を設ける、緊急対応の受け入れを優先するなど、ご家族が困った時に寄り添えるような支援をしたいと考えています。

毎回の入浴を提供し、ベット柵などは設けず、できるだけご自宅に近い状況で落ち着くことのできる環境を作り、その中で活動も行いながら、年齢に関係なく交流できる場として、楽しく過ごして頂けるよう配慮しています。「また来たい。」「また預けたい。」と思うような環境と楽しさを提供できるよう工夫しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用登録者数	129	129	129	130	131	132	133	129	132	130	131	131	
延べ利用数	185	175	167	178	189	159	173	165	135	160	154	170	2,010

登録者数 : 129 名 (3月末時点)

医療管理	人工呼吸器	気管切開	酸素	吸引	経鼻・胃ろう	導尿	ストマ
延べ人数	38名	35名	35名	55名	77名	3名	1名

職員配置	管理者	生活支援員	看護師	理学療法士	調理員		
人数	1名	8名	14名		3名		

令和6年度を振り返って

週の稼働日を1日増やしてスタートをしましたが、勤務を予定していた業務委託の訪問看護ステーションの看護師のスケジュールが合わず、週の稼働日を1日増やすことは、継続できませんでした。そのため、年度の後半からは週3日の稼働に戻しました。また、月2回の予約制限の中で1～2回、安定して利用して頂く方が多い中、未就学児の新規契約児も数名ありました。その中で、緊急時の相談も増えており、今年度は約30件の緊急の受け入れをしました。緊急の多くは主介護者の体調不良や入院で、「何かあったら相談できる場所」として連絡を頂けていることが実感できました。デイサービスとの兼任スタッフに加え、夜勤専従スタッフも定着しているため、情報共有も行きやすくなっています。

はじめてのショートステイ利用に、こかげを選んで頂くことが多く、利用児者2名対し職員を1名配置をすることで、利用児者やご家族の気持ちに寄り添うことができます。こかげはご自宅での生活の延長になるように、利用児者一人一人に合わせた、入浴方法、温かいごはん、柵のない寝床、お友達との楽しい時間など、ご自宅以外でも、心を安らげるような環境作りに努めており、実際に「こかげの日は安心してぐっすり眠れました」「お泊り会楽しみだね」等の嬉しいお言葉を頂いています。